

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 15日

中施策事業名	医療介護連携推進事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	今枝 翼
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	市民が安心できる地域の医療・福祉をつくる民間の活動を支援する		
④中施策事業の対象	医療介護関係機関・従事者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	連携がスムーズになされ、質の高いケアを提供できている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療介護連携推進事業に関すること ・いきいき笑顔ネットワークに関すること ・多職種人材育成事業に関すること ・多職種合同ケアカンファレンスに関すること 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
ICTいきいき笑顔 ネットワークにより 多種職連携のもと 支援される高齢者 の人数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	800	1,100	1,100	0	0	0
	実績値	1,182	1,258				
	単位	人					
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和05年度	令和06年度	令和07年度	
① 総事業費 (a+b)				11, 431千円	11, 464千円		
	a 事業費合計			11, 431千円	11, 464千円	12, 111千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
		人件費合計			0千円	0千円	
		② 補助金等 (収入)				9, 230千円	9, 256千円
③ コスト (①－②)				2, 201千円	2, 208千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				32 円	32 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価：A</p> <p>「医療介護サポートセンターかけはし」を藤田医科大学、東郷町との3者協定にて設置。退院時の介護医療連携の橋渡しを行うサポート事業を実施し、患者や家族に対する精神的な負担軽減に寄与している。また、多職種人材育成事業および多職種合同ケアカンファレンスを実施することで、医療介護人材の専門性向上および連携の強化を図ることができている。「いきいき笑顔ネットワーク」については、重層的支援対象事例を中心に障害者支援と高齢者支援の担当が情報共有を行う機会が増え、連携促進につながった。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	「豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし」と協働し、多職種合同ケアカンファレンス事業および多職種人材育成事業について、医療介護連携課題解決および医療福祉人材の資質向上につながるよう継続実施する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	「いきいき笑顔ネットワーク」が医療介護従事者の情報共有ツールとして有用になるよう、利用促進を図るとともに、災害時等の情報共有など危機管理が必要な時にも活用する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 15日

中施策事業名	敬老事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	今枝 翼
①めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができている		
②大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる		
③中施策	高齢者が孤立せず安心して生活できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	数え88歳、99歳、100歳以上の市民 75歳以上の独居者への年末お見舞訪問		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	在宅で過ごしている高齢者が増えている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老事業の祝金配布事業 ・独居高齢者年末見舞訪問 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
敬老祝訪問数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	350	400	420	0	0	0
	実績値	522	502				
単位	人						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				3, 138千円	2, 750千円	
	a 事業費合計			3, 138千円	2, 750千円	3, 390千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等（収入）				2千円	2千円	2千円
③ コスト（①－②）				3, 136千円	2, 748千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				46 円	40 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価：A 年末見舞訪問事業を通じ、民生委員と連携し、高齢者の孤立化防止や見守りを進めている。高齢者数の増加に伴う関連事務の軽減や民生委員の負担軽減を図るため、令和6年度から敬老祝金の配布方法を手渡しから振込みに変更し、記念品についても一部郵送による配布へ変更した。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	年末見舞訪問に係るお見舞い品の廃止や代替品（チラシ等）の検討。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	高齢者数の増加に伴う、事業対象年齢等の見直しの検討。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 3日

中施策事業名	介護予防生活支援事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	今枝 翼
①めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができている		
②大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる		
③中施策	高齢者が孤立せず安心して生活できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	要支援 1， 2 及び事業対象者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	重症化が予防できている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 介護予防日常生活支援総合事業 ・ 介護予防ケアマネジメントについて		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
要介護認定率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	18.3	16.8	17.3	17.7	0	0
	実績値	16.3	16.9				
単位	%						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				71, 801千円	71, 905千円	
	a 事業費合計			71, 801千円	71, 905千円	94, 887千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				62, 825千円
③ コスト (①－②)				8, 976千円	8, 990千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				130 円	131 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価：A</p> <p>評価指標である認定率は16.9%。第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の予測値（16.8%）とほぼ同じであったが、県（18.8%）および国（20.1%）と比較すると低い。また要介護2以上に至った年齢の平均による平均自立期間は男性82.0歳、女性85.5歳であり、県平均（男性80.0歳、女性84.4歳）を上回った。介護予防及び重度化防止に係る本事業の効果が出ているものとする。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	認定率および重度化率についてのモニタリング及び評価を行い、効果的な介護予防・重症化防止の取り組みを継続する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	数年以内に団塊世代が80歳代に到達することから、効果的な介護予防の取り組みを再検討するとともに、地域包括支援センターによる相談機能の強化および日常生活の活発化につなげるための短期集中C型リハビリの取り組みを強化を実施する必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名（仮称）	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 3日

中施策事業名	包括支援事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	今枝 翼
①めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができている		
②大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる		
③中施策	高齢者が孤立せず安心して生活できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	65歳以上の市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	日常生活に係る様々な相談ができることを知っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 包括支援センター運営支援に関すること ・ 総合相談支援業務に関すること ・ 高齢者虐待に関すること ・ 成年後見制度に関すること 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
地域包括支援センターの相談件数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	6,000	7,400	7,600	0	0	0
	実績値	7,266	7,487				
	単位 件						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				97, 023千円	96, 968千円	
	a 事業費合計			97, 023千円	96, 968千円	109, 595千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				78, 346千円	78, 301千円	88, 334千円
③ コスト（①－②）				18, 677千円	18, 667千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				271 円	271 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価：A</p> <p>地域包括支援センターの相談件数は年々増加しており、高齢者に関する身近な相談窓口としての役割を果たしている。</p> <p>さらなる高齢化の進行に備え、地域包括支援センターの強化のために委託料を増やし、人員体制の強化を行った。また、令和6年10月から重層支援センターを市直営の基幹型地域包括支援センターに位置づけ、困難家庭に対する支援強化につながった。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	きめ細やかな相談対応が行えるよう、地域包括支援センターの機能強化を図るとともに、効率的な運営や財源確保に向けての検討を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	後期高齢者数の増加が見込まれており、認知症高齢者に対する相談支援や、身寄りのない高齢者への支援対応が一層求められる。相談体制の強化を図るとともに対応策を検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 地域包括支援センター事業	内容、理由、時期等 今後後期高齢者数の増加が見込まれるため、強化を継続する。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 3日

中施策事業名	認知症総合推進事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	今枝 翼
①めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができている		
②大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる		
③中施策	高齢者が孤立せず安心して生活できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	認知症になっても安心して生活できている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 認知症初期集中支援チーム ・ 認知症地域支援推進員の配置 ・ 認知症キャラバンメイトの養成 ・ 認知症サポーターの養成		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市内の認知症サポーターの数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	9,500	10,500	10,700	0	0	0
	実績値	10,646	11,016				
	単位	人					
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和05年度	令和06年度	令和07年度	
① 総事業費 (a+b)				19,862千円	20,898千円		
	a 事業費合計			19,862千円	20,898千円	23,016千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				16,038千円	16,874千円
③ コスト (①－②)				3,824千円	4,024千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				56 円	58 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価：A</p> <p>認知症キャラバンメイトや認知症地域支援推進員を中心として、引き続き積極的に認知症に対する理解促進のための普及啓発活動を行った。また認知症初期集中支援チーム事業を見直し、市が事務局を担うことで連携強化を図ることができた。他にも認知症本人及び家族が参加する「認知症カフェ」や「本人ミーティング」、軽度認知機能低下を抱える人の生活上の困りごとに対し研修を受けたサポーターが対応する「チームオレンジちゃっと」等の取り組みを通じ、認知症高齢者の生活支援及び家族支援を行った。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	団塊の世代が今後80歳代になり、認知症高齢者が増加することが予想される。認知症高齢者に対する課題を整理し、認知症になってもふつうに暮らせるための取り組みについて検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	国や県の認知症施策推進基本計画の方向性を踏まえ、豊明市第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に合わせ本市認知症施策推進基本計画を再策定し、認知症に対する課題整理と取組を継続する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 3日

中施策事業名	一般介護予防事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	今枝 翼
①めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができている		
②大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる		
③中施策	高齢者が趣味や仕事などさまざまな場面でいきいきと活躍できるよう支援する		
④中施策事業の対象	6 5 歳以上の市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	要介護状態になることを防げている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 地域介護予防活動支援に関すること ・ 地域リハビリテーション活動支援事業 ・ 一般介護予防事業に関すること ・ 一般介護予防事業評価に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
要介護認定率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	18.3	16.8	17.3	0	0	0
	実績値	16.3	16.9				
単位	%						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				43, 577千円	44, 103千円	
	a 事業費合計			43, 577千円	44, 103千円	51, 087千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				38, 129千円
③ コスト (①－②)				5, 448千円	5, 514千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				79 円	80 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価：A</p> <p>認定率は16.9%となり、目標値（第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の見込値）とほぼ同じであった。また要支援・要介護認定に至る年齢の平均値は男性80.7歳、女性82.8歳となり、県平均（男性78.8歳、女性81.6歳）を上回っており、取組の成果として現れている。</p> <p>介護予防ボランティアポイント制度拡充により、元気高齢者が活動の支え手側として活躍するための動機付け強化を行うことができた。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	後期高齢者数の増加が見込まれる中、高齢者の機能低下およびフレイル状態を防止する取り組みが一層重要になる。高齢者の日常生活を活発化することが必要で、高齢者の興味関心に合った多様な参加の場を創り出すための取組を継続する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	介護予防事業評価を通じ、効果的な介護予防の取組について検討し、実施へつなげる。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 11月 14日

中施策事業名	高齢者生きがいづくり事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	今枝 翼
①めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができている		
②大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる		
③中施策	高齢者が趣味や仕事などさまざまな場面でいきいきと活躍できるよう支援する		
④中施策事業の対象	60歳以上の市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	老人クラブの活動が活発になり、人々が趣味を楽しんでいる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・老人憩いの家に関すること ・老人生きがい推進事業委託（老人クラブ） ・老人クラブ連合会補助金に関すること ・東部知多温水プール利用助成事業に関すること・食生活改善推進事業 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
老人クラブ参加者数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	4,750	3,000	3,000	0	0	0
	実績値	2,980	2,802				
単位	人						
地域サロン登録数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	63	65	68	0	0	0
	実績値	64	55				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				3, 569千円	3, 684千円	
	a 事業費合計			3, 569千円	3, 684千円	3, 602千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				1, 310千円	1, 310千円	1, 310千円
③ コスト（①－②）				2, 259千円	2, 374千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				33 円	34 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価：B</p> <p>老人クラブ参加者数の減少傾向が続いている。定年延長や高齢者の健康寿命の延伸による就労者の増加に加えて、生活や趣味嗜好の多様化等が原因にあると考えられる。老人クラブなどの生きがいがいづくりに役立つ事業紹介パンフレットを作成し、70歳を迎える648名へ郵送し周知を図った。周知や補助金交付等の老人クラブ運営支援を引き続き実施するとともに、介護予防事業や生活支援体制整備事業と連携し、高齢者の多様な生きがいがいづくりへの取組を継続・強化する必要がある。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>事務局の社会福祉協議会と連携し、老人クラブ活性化に向けての課題把握を引続き行いつつ、高齢者の地域での活動参加を促す施策を検討する。</p> <p>また、引続き健康推進課が実施する節目検診案内に、生きがいがいづくり事業紹介パンフレットを同封し、周知啓発を継続していく。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	多様な高齢者の活動・活躍の場の確保と拡大を図る。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 7月 24日

中施策事業名	老人福祉センター運営事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	今枝 翼
①めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができている		
②大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる		
③中施策	高齢者が趣味や仕事などさまざまな場面でいきいきと活躍できるよう支援する		
④中施策事業の対象	60歳以上の市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	趣味や健康づくりで集まる場所を知っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味講座 ・趣味教室 ・老人クラブサークル ・趣味サークル等 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
老人福祉センター 利用者数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	42,000	22,000	22,000	0	0	0
	実績値	22,081	20,458				
単位	人						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				10, 710千円	8, 075千円	
	a 事業費合計			10, 710千円	8, 075千円	8, 690千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				10, 710千円	8, 075千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				156 円	117 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価：B 令和6年度より指定管理者が変更となり、併設する福祉体育館と同一の指定管理者となったことで、施設全体での一体的な管理が可能となった。それにより、施設設備や備品等の保守管理、各種自主事業等の実施に係る会場の確保など効率化を図ることができた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	高齢者の活動拠点としての機能は保ちつつ、多世代・若年層への利用拡大に繋がるような事業実施に努めて、施設全体の有効利用を図る。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	今後の大規模改修等の予定は注視しつつ、施設全体の運用の在り方について検討をしていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 10日

中施策事業名	高齢者在宅サービス事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	今枝 翼
①めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない		
②大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する		
③中施策	家族を支援するサービスを充実させる		
④中施策事業の対象	高齢者及びその家族		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	サービスの利用で家族の負担が減っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 外出支援事業（R 6～ 高齢者タクシー運賃助成事業） ・ 理髪サービス事業 ・ 寝具クリーニング事業 ・ 寝たきり老人介護手当 ・ 緊急電話設置費等助成		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
外出支援の利用数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	4,350	4,350	4,350	0	0	0
	実績値	3,818	3,779				
単位	回						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				5,826千円	15,219千円	
	a 事業費合計			5,826千円	15,219千円	30,413千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				5,826千円	15,219千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				85 円	221 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価：B 令和５年度に企画政策課にて実施し、令和６年度に長寿課へ引き継がれた高齢者タクシー運賃助成事業については、令和７年度より既存の外出支援事業と統合し、利用者の利便性向上を図ることができた。事業の効果検証については、令和６年度より本格実施のため、令和７年度分実績より行う。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	各高齢者福祉サービス事業については、市民ニーズに応えるとともに、より効果的で有効な事業の実施方法等を検討し、必要なものは強化し、効果の薄いものは廃止するなどの検討を進める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	より効果的で有効な事業の実施方法等の検討を進める。 また、現在の評価指標については、高齢者タクシー運賃助成事業との統合に伴い、令和７年度分より評価指標の変更を行うこととする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 9日

中施策事業名	生活支援体制整備事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	今枝 翼
①めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない		
②大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する		
③中施策	身近な地域で助け合える環境をつくる		
④中施策事業の対象	6 5 歳以上の市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	高齢期の生活に必要なサービスを知っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 生活支援コーディネーターに関すること ・ 住民主体の生活支援体制に関すること ・ 在宅福祉推進活動委託に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
生活支援訪問サービス実利用者数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	75	75	75	0	0	0
	実績値	58	52				
単位	人						
ちょっと実利用者	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	290	300	300	0	0	0
	実績値	275	308				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				16,330千円	19,113千円	
	a 事業費合計			16,330千円	19,113千円	21,205千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				13,186千円
③ コスト (①－②)				3,144千円	3,680千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				46 円	53 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価：A</p> <p>総事業費は増加しているが、「おたがいさまセンターちゃっと」の利用者数および支援件数についても増加しており、市民サポーターによる助けあいの仕組みとして無くてはならない活動になっている。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	「おたがいさまセンターちゃっと」事業の支援件数が増加している中、事業運営の課題を受託者とともに検討し、効率化に向けた取組を図る。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	生活支援コーディネーターによる住民主体の地域活動の一覧を作成し、活動の見える化を図る。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 15日

中施策事業名	シルバー人材センター関係事務	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	今枝 翼
①めざすまちの姿	33 高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている		
②大施策	高齢者、障がい者の活躍の機会や場を増やし、収入と生きがいを得ることができる環境をつくる		
③中施策	高齢者、障がい者の活躍の機会や場をつくる		
④中施策事業の対象	60歳以上の市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	仕事をし、生き生きした高齢者が増えている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	シルバー人材センターに関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
受注件数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	2,450	2,450	2,450	0	0	0
	実績値	1,469	1,363				
単位	件						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				26, 708千円	27, 682千円	
	a 事業費合計			26, 708千円	27, 682千円	28, 482千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				26, 708千円	27, 682千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				388 円	402 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価：B</p> <p>シルバー人材センターの会員数は減少傾向で、会員の高齢化が進んでいる。受注件数の減少は会員ができる仕事と受注業務にずれがあることが考えられる。業務開拓に向けた取組みの一つとして、関係機関との連携を図りつつ高齢者の現状と課題について知る機会として、シルバー人材センターのコーディネーターが多職種合同ケアカンファレンスに出席した。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	新たな仕事の開拓を進めるために、引続き関係機関と連携を図り事業の在り方を検証する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	関係機関とシルバー人材センターのとの連携を図り、改善に向けて取り組んでいく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等